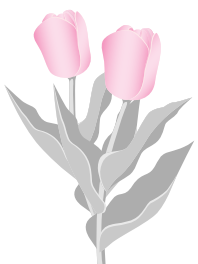


補助金交付は適正か

濱元幸一郎 議員



濱元 私は、これまで同和行政の支出、特に部落解放同盟合志市支部、全日本同和会合志支部への補助金の支出について、同和問題の早期解決を願う立場から反対してきた。

今回、2つの団体の補助金の使途を調べるために、市に資料請求を行ったが、提出された決算書・事業実績書では、内訳を知りたくても市民の税金が何に使われたのか全く分からない。事業実績書をもっと丁寧に記載させ改善するべきだ。

総務企画部長 金額の大小に関わらず、税金なので、市民に対する説明責任を果たしていく必要がある。市民が分かる形で記載が必要だと思っ

濱元 私は決算書・事業実績書だけでは詳しい支出の内容が分からないために、支出の際の領収書が保管されているはずと思ひ公文書開示請求をおこなった。ところが、領収書添付を団体に求めているという事で不開示決定となった。しかし、領収書等の原始記録の保存は会計上最も大切なことである。行政文書の保

存管理は適正なのか。

総務企画部長 補助金の使い道を証する領収書については、補助金を受けた団体で5年間保存していたく形になっている。

濱元 合志市文書規定第6章第39条では「予算・決算または出納に関するもので重要なもの」は行政が5年間保存することと定めている。菊池市や山鹿市、植木町では領収書を保管して、開示請求にも応えている。

市民が、やっとの思いで納めた税金が、一体どのように使われたのか、補助金の使途を把握するのは当然である。市補助金交付規則に領収書添付を義務付ける規定を設け、市でも領収書を保管するべきだ。

総務企画部長 基本的には領収書を添付させる方向で検討していきたい

都市計画！

尾方 洋直 議員



尾方 土地利用計画マスタープランの土地利用計画について平成27年度までに整備方針が定められるか？

総務企画部長 基本構想については、総合計画の中の地域図に示されていますが、この問題は短期で整備ができるものではありませんので、長期的視点に立って利用計画を定めて行きます。

尾方 都市計画には市街地を形成するために旧町間の一体化を計ることが重要な課題です、市街化調整区域の見直し、そして、農振除外等が必要ですがどうなっているか？

都市建設部長 市街化調整区域の線引きの見直しについては県あたりと協議していますが、市街化調整区域の中に残存農地があり見直しが難しいところです。

産業振興部長 農地転用の問題は12



みずさき台 市道

月に農地法の改正も行われますが、農地転用は厳しい状況です。

尾方 合志市の人口は現在5万4700人ですが、27年度5万7400人と見通されていますが、行政的に又財政上、適当な市の人口とは？

市長 27年度の人口見通しは突破するという状況にあります。総合的に学校、又道路問題、上下水道施設の可能性、そして文化、歴史の保存等も考慮しつつ、一定の住環境を整え人口の増加によって市の活力を増すことも重要です。人口についてはこれからのテーマです。

尾方 本市では今後の人口増加に対する上水道供給対策として地下水涵養が必要であり、そのためには遊水池、調整池を作ることを進めるがどうですか？

市長 すべて地下水に飲料水を頼っています。涵養、保全これにつきましては重要課題であり開発する場合には調整池を作ることを進めてまいります。

経費削減！！

松井美津子 議員



松井 人口内耳音声信号処理装置スピーチプロセッサの助成の創設を。

健康福祉部長 本市の対象者は一人で助成については、医療保険の適用範囲の拡大により、国が統一した制度として実施することを望む。

松井 子育て世代の親御さんたちのためにベビーマッサージの普及を。

健康福祉部長 子育て支援のサークル活動の中で実施できるか社協と相談し、乳幼児検診時の機会に、PRできればと今、考えている。

松井 女性の間に流産、早産、新生児死亡等で、赤ちゃんを抱くことが困難な場合、不育症という。不育症の原因、治療法は、わかってきましたが、検査、治療に関して保険が使えないので高額な負担がかかります。不育症について本市の取組みを伺います。

健康福祉部長 不育症の言葉を初めて知ったので取組みはやってないのが現状で国の保険適用を望む。

松井 行財政改革について最重要課題でございますが、本市の小・中学



校に導入するパソコンについて安価な互換オフィスソフトの転換をして、学校現場に順次導入すれば大きな経費削減につながると思うが。

教育部長 ソフト購入費用はパソコン整備の中で大きなウエイトを占めている。互換ソフトの研究も十分しながら不具合等がないということであれば順次切り替えていきたい。

松井 読書の効果として、知識や学力を得るだけでなく、感動や癒しにより心を穏やかにします。想像力をはぐくみ、他人を思いやり、多くの人の生き方を知ること、人生の苦難を克服するエネルギーになる読書のまちづくりの推進を。

市長 読書の市の宣言というようなことについては読書の推進計画と合わせながら考えていきたい。

安全・安心で住みよいまちづくり

濱口 正暁 議員



御代志駅前交差点

濱口 国道387号線、県道住吉・熊本線の朝夕の交通渋滞は年々ひどくなっている。この解決策の一つである御代志駅前交差点改良の進捗状況と見通しは。

都市建設部長 県と合同で進めていますが、用地交渉は20年度は25%、21年度累計50%、22年度迄に終え、改良工事の完成予定を24年度末として進めています。

濱口 県道住吉熊本線のバイパス計画で①県道辛川鹿本線②市道竹迫東廻り線改良の進捗状況はどうか。

都市建設部長 いずれも県、菊陽、合志市の広域的な渋滞対策の道路整備であり、三者協議しながら平成20年代の後半を目途に進めたい。

濱口 今の時代、ハード面だけの対応を求めるのは困難と判断される。並行してソフト面からの取組みを近隣地区へ働きかけて協議体をつくり、取組むべきと考えるがどうか。

都市建設部長 県、合志市、大津町、菊陽町の自治体、地域内の企業、自治会等の代表で構成する「菊池南部

環境問題について

濱口 温室効果ガス削減に対する合志市の取り組みは。

総務企画部長 地球温暖化防止実行計画書を平成21年2月に策定した。京都議定書に基づき平成21年から25年迄の5年間に毎年12%削減して目標の6%を達成したい。

教育部長 ごみ減量化、節電、節水を心掛け、環境に対する意識高揚を図っている。

市民部長 第1回環境フェスタを開催し、ごみの減量化をメインテーマに啓発を行った